

2022年4月

2022年度
四万十町地域イノベーター養成講座
第1回 ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

実施概要

- 日 時：令和4年4月23日（土）16時00分～18時00分
24日（日）10時00分～12時00分
- 会 場：岩本寺
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全5回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人ひとりが自分事として、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
1日目 16:00-16:10	オリエンテーション	・講座についての説明
16:10-16:25	チェックイン	・参加者の自己紹介、気持ち・期待の発表
16:25-16:35	講座の進め方	・今回の講座の進め方についての説明
16:35-18:00	マイプロ発表	・受講生のマイプロ発表
2日目 10:00-12:00	レゴ®シリアスプレイ®ワーク	・レゴ®を使用し自分の気持ちを表現する

開催概要

令和4年度 第6期生募集 地域イノベーター 養成講座

**自分と向き合い、
仲間と共に一歩踏み出す**

四万十町では、何か新しいことを始めてみたい、地域のために何かしてみたい、という方などを対象に地域イノベーター養成講座を開催しています。アイデア実現のための仲間づくりと学びの場を提供するだけでなく、やりたいことがまだない方やいろいろな学びを得たい方にもおすすめです。年齢や所属は問いませんので、お気軽にご応募ください。

主催：四万十町 協力：高知大学地域協働学部 コミュニティデザイン研究室

回覧

四万十
ビジネスプラン
コンテスト
指定講座
※特典
一次審査免除



スケジュール・内容

※時刻や内容は多少変更する可能性があります。あらかじめご了承ください

- 1** 4/23(土) 16:00~19:00 ~ 4/24(日) 10:00~12:00 **自分の想いを振り下げ、「本当にやりたいこと(will)」を見つけ出す**

自分のライフストーリーを振り返り、対話を通じて「本当にやりたいこと(will)」の種を見つけていきます。
- 2** 5/28(土) 13:00-18:00 **自分と紐づいたマイプロジェクトを描く**



馬場 加奈子氏 (株式会社サクラッド代表取締役/NPO法人学生履修士協会理事長)

香川県生まれ、10年間、陸上競技に励み、高校3年時に円盤投げで「はまなす団体」優勝、生命保険会社勤務などを経て、2010年に全国初の学生履修士店「さくらや」を起業。各種メディアに取り上げられ、「さくらや」の運営で地域の子育て家庭を支援したいとの声が殺到し、「さくらやパートナー」を募集開始。1日5時間・週4日営業でも成立立つビジネススタイルが子育て中の皆さんも取り組みやすいと評判になり、北海道から沖縄まで全国に店舗を拡大。大卒の経験を活かし、起業家やSDGsをテーマとしたセミナー等で「地域共感ビジネス」を講演し、好評を得ている。
- 3** 6/25(土) 13:00-18:00 **創り出したい世界をデザインする**



丑田 俊輔氏 (ハバタク株式会社 代表取締役)

福島県会津若松市生まれ、慶応大学商学部在学中にプラットフォームワークス課の立ち上げに参画。公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクエア」、日本IBMを経て、2010年にハバタクを創業。国内外を舞台に様々な教育事業を展開。2014年、秋田県五城目町に移住。田舎発起事業家を育む「ドチャペン」、古民家を舞台に地域を繋ぐ「シェアビレッジ」、退休施設を遊び場化する「たのめそび場」、住民参加型小学校建設「ふるふる学校」支援等を推進。2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。
- 4** 7/31(日) 13:00-18:00 **小さな一歩を踏み出してみる**



鬼丸 美穂氏 (料理研究家/副業料理人)

北海道出身。大学卒業後、上京し、IT系の仕事に従事。2010年9月、「鬼丸食堂」として出張料理やケータリングを始める。同年11月より、満足した分だけお支払いいただく投げ銭形式の食堂イベントを都内各所で不定期に開催。おみやげや体験の価値を味わった方自身が作る「八方知人」にて、不定期開催。2016年10月より、東京・大手町で三宅地所が運営するスタートアップインキュベーター「3×3 Lab Future」(さんさんらび 未来ファチャー)のキッチンコネクターとして、キッチンを中心としたコミュニケーション促進、イベント開催を推進。キッチン利用イベントのサポートを行う。テーマやゲストのストーリーに合わせて、地域の食材を使った郷土料理や世界各国の料理を再現することを得意とする料理研究家。
- 5** 8/27(土) 13:00-18:00 **最終報告会**

5か月間のアクションと気づきを共有します。

受講生の声

坂山 陸さん

全4回の講座では、様々な経験の講師の方たちから、現場を経験されてきた人ならではの興味深い講義を聞くことができました。実際に行ってきた事例に沿って説明してくれるので、自分のプロジェクトの参考になること間違いなしです！

山本 由紀さん

チャレンジすることが好きで、職場でいかせてもらったイノベーター講習でした。自分自身を俯瞰してみる、過去の自分と向き合う、初めてのことに戸惑いでしたが、プロジェクトをどう進めればいいのか、半年の間でたくさん悩み考えました。大学生の若いパワーをもらい、受講生とたくさん語り、貴重な体験をすることができ、本当に参加して良かったです。

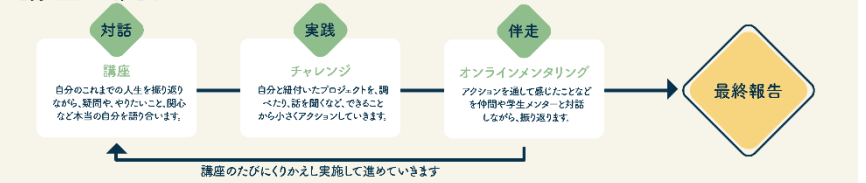
正岡 千佳さん

「自分のことが分からない」、講座当初はそんな自分にモヤモヤしていました。自身の正しい立ち回りを振り返り共有していくことで、やりたいことや目標ができました。イノベーター講座は、本音で語り合える空間で今まで気付かなかった発見や、新たな自分に出会える機会だと思います。受けて損はないです！

宮崎 崎地さん

全国から来てくださる色々な経歴の講師の方の話を聞いて、自分のやりたいことの実現のために何をすべきなのか、何をやっているのかという話を知ることができました。また、学生メンバーとの毎回のミーティングを通じて軌道修正しながら、自分が何をやっていきたいのか、何をさせたいのかを考え、言葉にすることができました。

講座の流れ



- 募集人員 10名程度を予定
- 受講料 ① 町内に住所がある方… 5,000円 ② 町外に住所がある方… 10,000円
- 講師 高知大学 地域協働学部 須藤 順 先生
- 応募書類 右下のQRコードの応募フォームからご応募していただくか、エントリーシートに必要事項を記入して、下記のいずれかの方法でご応募ください。
 - ① 持参する場合は、人材育成推進センター、もしくは各地域振興局に**4月15日(金)**までに提出してください。
 - ② 郵送、メール、もしくはFAXで人材育成推進センターまでお送りください。なお、エントリーシートは、四万十町ホームページからもダウンロードできます。
- 受講資格 四万十町で活動する意思のある方、並びに、四万十町の資源を活用して活動する意思のある方で、原則として、全講座に参加できる方を対象としています。
- 受講料納付方法 受講料は、第1回目の講座の時にご持参ください。
- その他 講座内容や開催場所(四万十町内)等の詳細については、受講生の方に通知いたします。
- 「四万十ビジネスプランコンテスト」への応募を検討されている方は、イノベーター養成講座を受講することで、長い時間をかけて自分のプランをじっくり考えることができます。また、指定講座のひとつとして、当講座を受講することで、「**四万十ビジネスプランコンテスト**」1次審査が免除されます。
- サポーター制度 当講座を修了された方は、次年度以降サポーターとして、**無料**でご参加いただけます。

(注) 各回の間に、具体的なアクション(調査など)を行っていただくことに加え、事務局および運営チームとの相談会を適宜開催し、プロジェクトの実現に向けたサポートを行います。


事務局

四万十町役場人材育成推進センター
(担当:横山 光一 吉村 愛)

〒786-8501
高知県高知郡四万十町掛川3番7号

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp
TEL 0880-22-3163
FAX 0880-22-3345

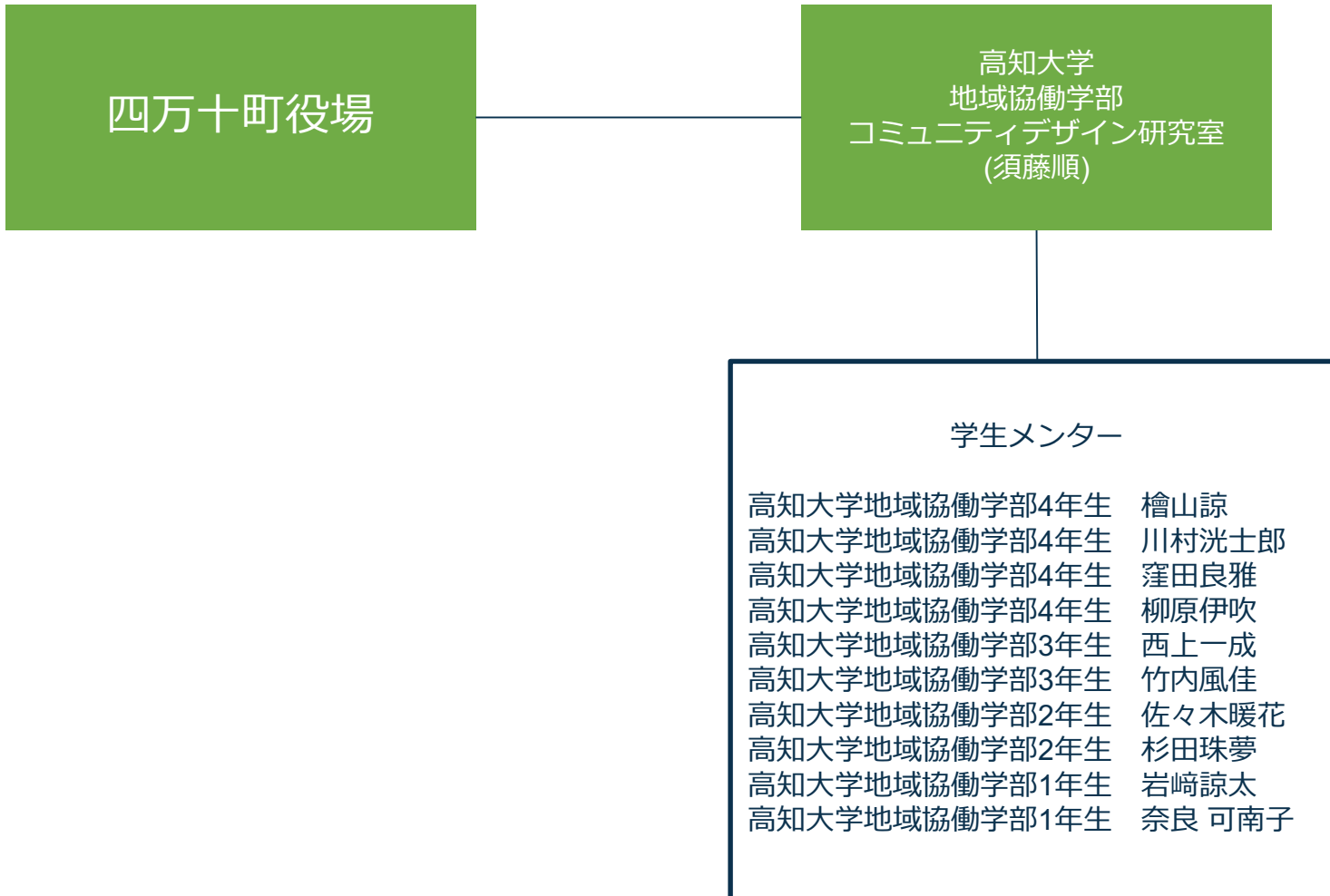
お申込みはこちら



令和4年度 地域イノベーター養成講座エントリーシート

氏名		フリガナ	
職業	電話	メールアドレス	
年齢	性別	住所	
あなたが現時点で思い描いているプロジェクトや、四万十町でやってみたいことがあればご記入ください。			

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

マイプロジェクトとは？

自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

マイプロで活用するシート

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (~小学校)	人生グラフ:横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、読んでいた時を見える化しよう!	
(~中学・高校)		
(~専門・大学)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
(~現在)		
今	マイプロジェクトの源泉へ	

← me編シート

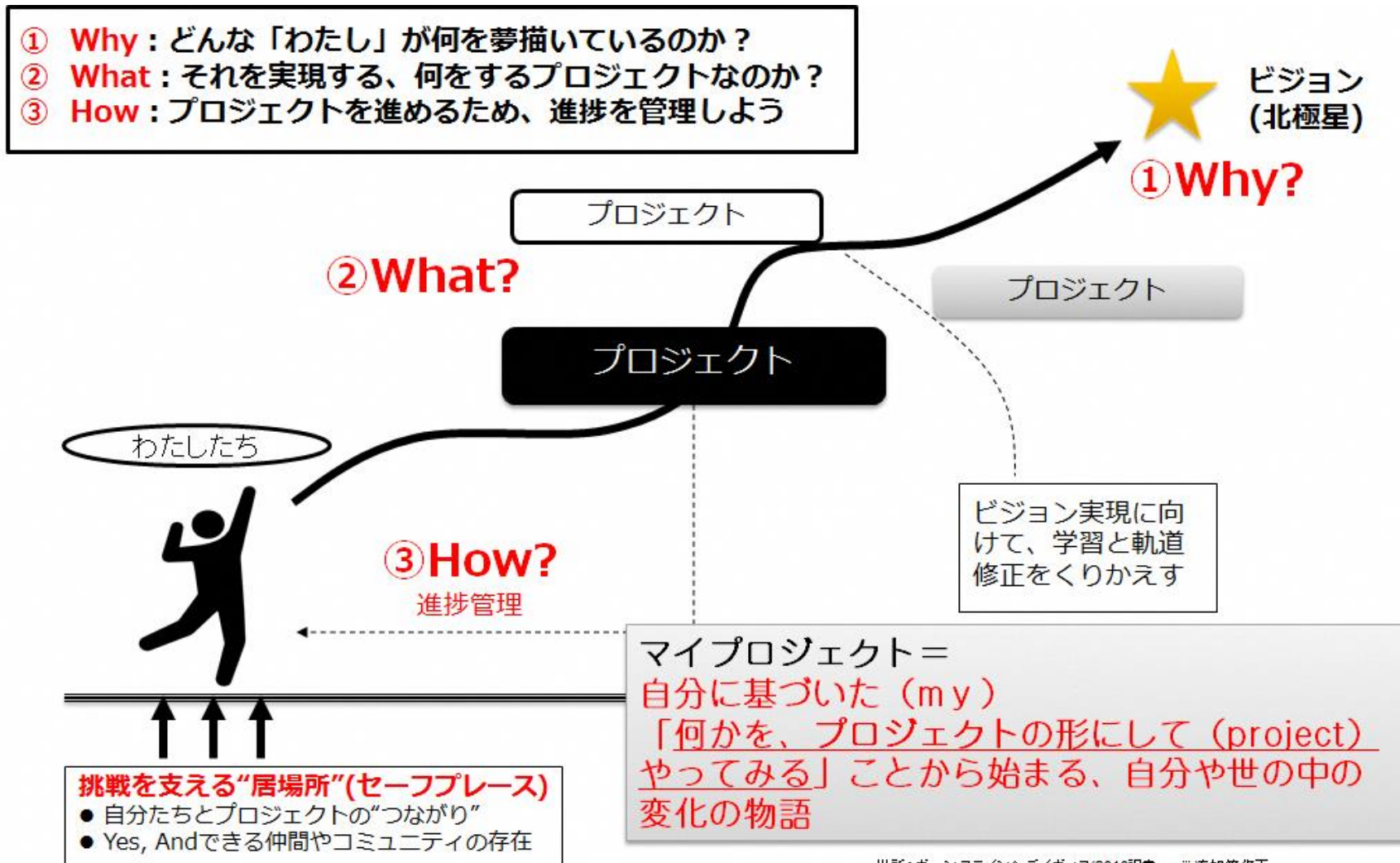
- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

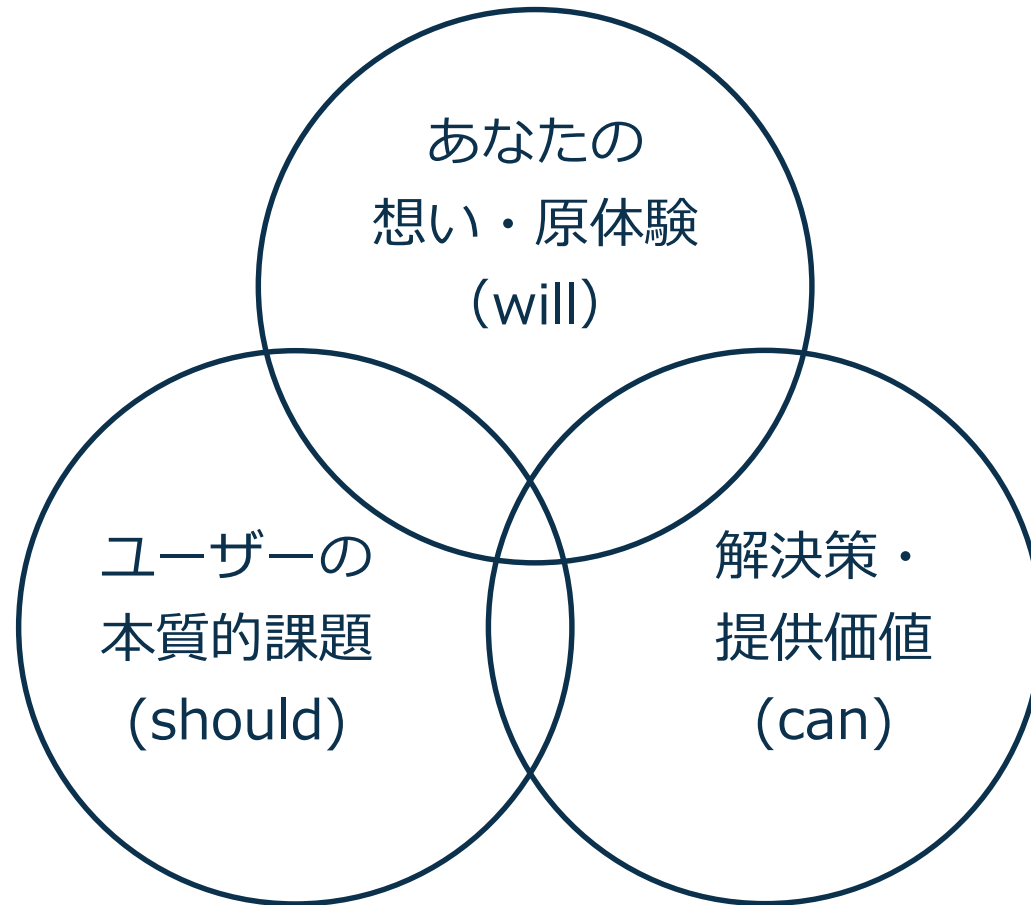
PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!	
■実践したいプロジェクトの概要	
■「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか?

マイプロが目指すイメージ



出所: ボーンSTEIN& デイヴィス(2010訳書, p.104) 滝加単修正
 ※ 井上英文作成

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



オリエンテーション/チェックイン

まず最初に四万十町役場の吉村氏から講座を開催するにあたっての挨拶があった。そのあとに須藤から講座の概要について説明を行った。その後、チェックインとして「名前、所属、今の気持ち、期待」を一人ずつ話した。第1回目の講座ということもあり、緊張している、と話す人が多かったが、講座に対して前向きな期待や、意気込みについても話す人もいた。始めて講座に参加する方だけでなく、6年間参加し続けている方もいた。受講生、学生メンターともに、緊張感がありながらも、和気あいあいとした雰囲気で行うことができた。



チェックインの様子



話を聞く様子



講義の概要について説明



説明を受ける様子



挨拶



話を聞く様子

マイプロワーク

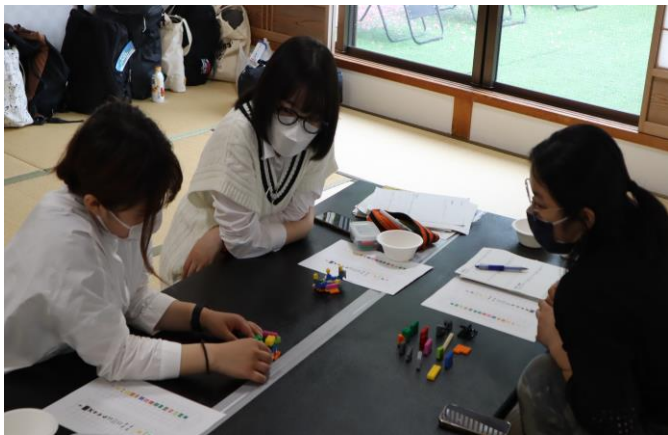
須藤からマイプロについての説明、そして実際に須藤自身のマイプロme編の発表が行われたあと、受講生による発表が行われた。それぞれの発表の後には、質疑が行われ発表者自身が気付かなかった点を聞き手側が質問し、自己の新たな一面に気付いていた人もいた。また、それぞれの発表者にプレゼントカードを記入し、終了後にプレゼントをしていた。



レゴ®シリアスプレイ®ワーク

レゴ®に慣れる簡単なワークから始まり、提示されるテーマに合った作品を作成していった。

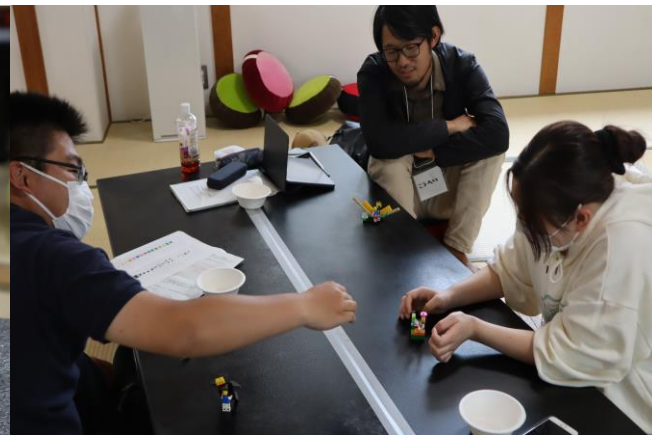
「深く頭で考えることなく、とりあえず手先を動かして作品を作ってみて」という言葉に、黙々とブロックを組み立てている様子であった。自分が作った作品を説明したり、質問に答える際には作品がどのような意味を持っているのか、あえて意味づけするならばどう思うか、試行錯誤しながらレゴ®を通してコミュニケーションを深めていた。



説明をしている様子①



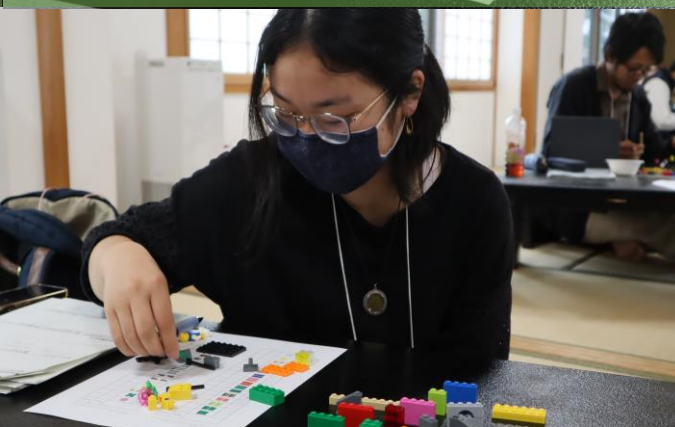
作品を作っている様子①



説明をしている様子②



組み立てている様子



レゴ®を並べている様子



作品を作っている様子②

マイプロの進め方

① マイプロシート(me & pjt編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



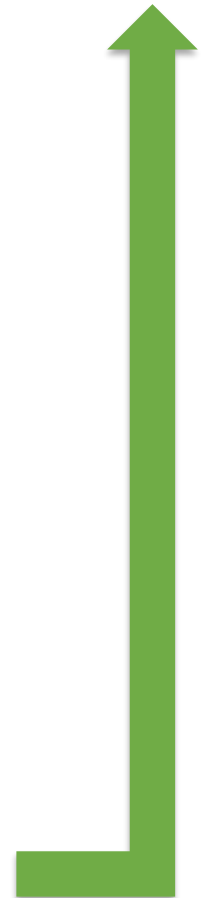
③ プレゼントカードを書いて渡す



④ アクションを試してみる

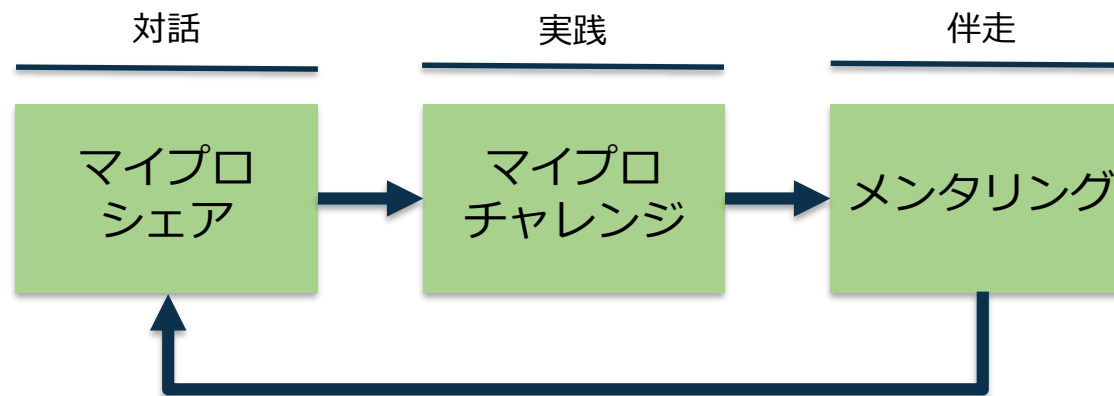


⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく

四万十町地域イノベーター養成講座のプロセス



- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリングを行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。